

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課		■担当係	観光物産係
■評価事業名称	森と湖に親しむ旬間実行委員会事務			
■事業開始年度				
■評価事業コード	060200 - 335	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興		
	■施策	04 地域資源を活かした観光の振興		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	森林の大切さ、水資源の重要性についての理解と、森林や湖に親しむ事業を実施することによる、入畑、夏油地区への誘客促進。県内6ダムで県民に森と湖に親しむ機会を提供することによる森林やダム、河川の重要性についての関心を高め、理解を深める事業として、入畑ダム周辺及び夏油高原スキー場で開催の「遊・YOU・入畑2014」に係る事務			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成28年度事業計画	平成28年度事業量実績
01	森と湖に親しむ旬間実行委員会事務	市民ほか	県実行委員会総会第1回北上地区分科会遊・YOU・入畑2016開催	県実行委員会総会第1回北上地区分科会遊・YOU・入畑2016開催

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	4		1	1	
人件費	458	81	74	75	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	462	81	75	76	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	森と湖に親しむ旬間(遊・YOU・入畑)イベントの開催数		1回	1回	1回	「遊・YOU・入畑2012」を開催し、ダムの一般公開や湖面パトロール、巣箱・キーホルダー製作、温泉入浴割引、パークゴルフ割引を行った。
02	実行委員会開催数		1回	1回	1回	県実行委員会1回地区実行委員会2回

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

03	イベントへの参加者数		227人	150人	549人	入込数調査による
04	イベント開催当たりコスト					
05	参加人数当たりコスト		357円			
06	委員会開催当たりコスト					

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

若年世代に向けて、森林や水資源の大切さに触れながら、それらに親しむ機会の提供が出来ており、この時期の定番イベントにもなっている。

問題点・課題等

大規模なPR活動はできないため、限られた範囲での集客となっている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

対象を限定しないイベント開催となるように、広く広報宣伝を行う。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了